**胖とも結び** 近く京城に日獨協會設置 ョッ

日ザウエル教司を同伊本府に南部督、大野成務總監を訪問、 )具體化されるものと見られてあるが、右に欄しビショップ領事 中に城大で韓助帯省と三月~う こく そに目 下話 が進んで ふので何れ質 現すると と思ふ、進んでふるので何れ質 現すると と思ふ、 にも日獨協會を設けるをに目下話

特に詳細な説明をなすこと ・物質影策については底相より ・物質影策については底相より ・過数数表したる現内閣の政策 ・ジャー

後官質開拓集別日を決定一四氏、資票部大臣丁監修氏・外交部

大臣張鵬側氏、計法部大臣張禄尚

べく避避を測してゐたが今七日正 開年を原機として後進に途を開く 氏、記蔵事大臣変主は七日建國五

式に解表を提出したので説詞所謂

何かお役に立ちたいと思つてゐる 朝鮮との通商に就いては必ず將來に於て

一度として朝鮮と関連の智慧是常に関して祖々孫談を遂げ

定例閣議

に打合を行ひ、外承整察の催化器

野東京、神島大阪、佐々木下

英公式會談も用意

リカ政府の協力を実験したかと傳へられるが、右交渉はアメと傳へられるが、右交渉してゐるを担互議益につき交渉してゐるとないしてゐる ル」家につき次の如き質問さな 英國下院で外務次官答辯 

記支那大公使を招致して在外使臣に出席、次いでヨーロッパ各國紀

地理学 における各地の 寒に臨んだ

長に催して記事に入り提作等。に氣勢をあげて正年盛情無に収的

なし林内開打倒

の演蝣も林首相の超心臓にはい つこう感かぬらしく六日百暦に

即七時二十分育相官邸に入り林首【東京電話】河底田内相は七日午

すべく民政能の中層たる新程度は

電話】選挙後の政局に對異一彩顕過務を置かず、また所能監察

五名を二名に献じ職事長以下新役

45の機動を放射艦へ悪途。 「同により飲息跡十名を入名に滅じ、今或佐調食食長、傷力失五形が脱光・その他を最近、頭下の一角の一角方、決定した、今回は熱診消産化の主、一人が住職間、富田幸次郎、領ル木漁説、這壁の無速弾における

英支借款も成立、氣運濃厚

支双方担強の利害組織好解につき、財政部長はロイテル通信或に對しの内容に就てロイテル通信は「英」を関はしたものと見られる既に孔 は恋らく威地式後とならう、節語|レン蘇州市にイーデン外相と所見 は既に共體修交渉を進めるため南 と問見方法を打合せてゐるが配

3300名

九月にかけて

| 局に對応するためさきに冰首相談 リトガイノフ氏、國院人民委員究

十級節を通過した成立隊|使マイスキー氏を代表として参列 長オルロッ提督、ロンドン駐詞大

協設の結果來る十七日より凡そ、

週間明くことに決定した

蘇聯代表倫敦へ

界の實施態に各種遺跡法域の施行 | させる皆六日正式に越表した、リ

酢を吸つて、らん ある、咽喉が

そのうちに生はとうに過ぎてし 『先生にもらつてるのだ、』 られた駐留へ 往つて来るが

騰大 暗 室

**房**祭

子鳥咖啡

た開太郎の交渉の結果を待つてあ ふちまなる飲

買話小說傑作集

鰥子育で文七。製品

歌 薔 薇 競 技 二 …

青春オリセジグ・コード

武田菱捕物帳 暁は遠けれど、前部

霊あ、それなのに証明

器捨てられた 花い

(新姓氏 (朝那界所) 八日夜卷

天地支養

「そんなに飲みたいのか、

ヒンデンブルが號の暖落、

「能は後にする、そのかはり、

す。気だつた顔を見せてゐた。 妻子だそ の道場の入口に五六人の弟子が殺

が はくなり、 が 大郎 るが、手士盛の

懸江户手 現代の英雄

(-6

勢畵 即作

的九時より大阪所観に於て安井和 【東京電話】第六回六大都市消防 消防署長會議

人男

語切小說傑作選

大學作

加太郎に云つ 回館する

お話をつけようこ はつてもらひた では話ができ、

水へ往くから **/林男双葉山物語**東京

元と龍 蔵は それと見 て寄つて來一人に送られて今高屋を出た。主 はちとつとお考さんに逢つて除る。」どうかお出でを願ひたい、拙書 一足お削へ馴ひた いのは大籔だつ

た。玄脳の右側 かない、二人は してから近く 

六月號

の真り只中を行く歴史は、歌歌節語の腕つこき、各批選 鐵工工工程 等ギツシリ流激 素略な傑作漫響

繫盲光線事件 許野 議總川やど双大手等 瞬旗本旋 風陣 類課 ●離應接演說·轉 腹切り供養・監 山の湯の少女艦

生存者は五十

七年度最初の航空に無残なこの標準に選出したものである] ――高度は若陸制那のヒンデンブルが観 答弘十一名を乘せてベルリンのフリードリッヒス・ハーフエンを出稿。レークハーストに向け處女航臺 を實行して以来、第一ケ年大西洋空の嚴重船として世界航空船最大の河岸を集めて来たが。今回一九三

で関行「ひかり」に飛び込み心中

は金質が一本であつたが、生質に 育質機させたところ、死ん、応ス に加きのものではないかと推

程の癒を語ったかと思はれるやら

避疑された生自は墨の毛が根本か

「レークハースト六

## ヒンデンブルグ號 有陸刹那 乘客、乘員四十四名即死

乘客、乘組員四十四名は即死を遂げた レークハースト部行場に釧着、將に着陸せんとするや突如火災を起し墜落した、この慘事によースト六日間間を急襲」大西洋に別郷空のドイク総会船にソデンブルク戦は大西洋を顕誠して六日午後六時二十五分(張部郷



長) 一生を得たレーマン船 客工人名は無事を除へられる(第一 マン船艦長、卵組織二十五名、 郷を呼びながら泣き倒れ、巫安 間く信じて、今は聞らぬ皇子の 間く信じて、今は聞らぬ皇子の になるこの動かの解析の言葉を になる。 に特別研究したものか日下の関門のさ元町四丁目別也で永上

のお告げで飛んだ霊者を生んだ一 の情傷を経ば六日午後解剖に削し 山橋門袋事件の主宋水胆君。と

に至り、全然脱裂の疑ひを認めず法所要的に機能した結果、七日朝

的哲學者スプランガー郷土は且下一即全部町で選集側立起法祭を執行

殿司会都では九日午町十一時かり

町一丁目の交番で保設田

震兵隊記念祭 朝鮮國民

電線泥棒は四

倉庫に一杯の盗品から發覺

逐に

一味全部捕は

上師でいれてことに独奇の流江協

辿りつき元町四丁目割近で水上一落したものか、歩いて下京さでしかし宋少年が頭江橋上から壁 無染単牧も三ヶ月目に解決を見た

解剖の結果斷定さる 博士來月來解める世界スプランガー弱速の主 ばかり春を経入だっつっていた

演を行ふ客である

**獵奇の血染事件** 

てな



屋の花らっきら

方醇

商稿

陽然

严重名含納嘉 5 泰

7

皮膚泌尿花柳病 醫學博士渡邊晋

診臓十二時中マテ及ビタ到 京城黃金町入口 日本生命概

猫血

強壯剤

类

造工

極東カマド

時詳細

計 店

· 古一大澤時計店三階 五月八日午後七時半 日本テレフンケ

> 榮 養·經濟 內科一般特二

> > 名質共二日本一種東商

鹼

**阿朗、加阳、**括例

五

所

ボルザーク

『チエロ協奏曲』發 荻

日本樂器會社出張所

グライスラー も及ばぬ人神の名演 得意の三大



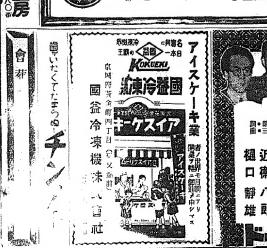














金鍾砌氏遺言して逝く

駆加と話題を提供してゐる。 終の終団融資に投げ出したのは朝 やでは、当七十五角面の巨脚を図

によって送り人は京都市石京馬太 **々京都から送り邸げ、赤へた手紙** 

の人態を送つて慶馬を慰めんと

故寺坂一等兵の遺族を

見童が慰問

軍當局でも感激

・ 選天出票銀育英財國新設元に六十、西田 国家并占 為表 東馬 京縣 成立

院で加原中南勢急遽した六日夜八 林氏問題を長金回四氏(き」およる

四月下旬から病を得て城大院顕璧

學語言女子醫學昇格則成會に

同文字的等。这些發於院斯沙拉 順天出中等學校設立期成會に

を作成し終るや安堵と国足の数

問題無罪に不朽の一節故
金 形柱氏の高端な人格と
動え

友人柳一韓氏の美墨

故金用柱氏の遺兒敎育資金に 千圓の信託

つた競力に最後の力を添へて杜前 時ごろ、母親側氏(デ、天人州黒岸

氏等の近拠者を呼び寄せ、数へ切

をことづけられて思つたことが五 氏方女中日野ふじ子さんの三十歳 しんが二國を出し、近所の柴山祭

去る廿四日午後三一亡した故学板一等兵の遺族に送つ 日戦男と軍官局を整難させてゐる

特望の名作十二日頃

潮潮麵

違ったり [明日] 同じ京城地方 [今晩] 噺れ

特込まれてみるのを 競児軍を協議

散萎倫線に至るまで電線が取べと「総川した線だが、東大門器線単線。 閉の東部宮城一帯に亘り総計、際「新詞では建正框線塗籠所よがまで一郎秋以來四水即「総十里、清鴻里」して切線され鮑線溝を備まし、徳

鐵道心中の片割れか否か 金崗の數に殘る謎

稼ぎせんと相談の上、電機以前に

味は去る一月卅日午後十時皇

名で昨秋來引聞く職似出場に一

では《生育の主やーい》と探して女の自殺事性がないので、趙田教 ころ月毛の台所で市仲間道を応じてか原城海水町五三茶基元されている。

朝鮮同胞第二號 に譲渡

帝國飛行協會の好意から

によったが、更に今川市図流行 によった優秀旅客機 | 同帰型 伸び行く牛島航空界

受回機「同胞第二號」を情調が ことになり伽州行士は七日飛行 □ つた趣向のプロを集め、大いに 庭で行ふ、今番も例によつて襲 丸日(日) 午前九時から同校々 会と催し

その純武が置を結んで昨年後、

京城岐阜縣人野 春季例曾を繁料イズムを設揮する計組

附近六年に在城中の金配駅数1mm と、六日朝鮮台形館献に金配駅(以) やてある射する技術から亡きがの長子順顧 と、六日朝鮮台形館献に金配駅(以) やてある

除隊兵ご愛馬

郷里へ歸つても昔戀しく

手作りの人參を送る

スタンプン制船一方が野路と共に野鹿野は船尾一ニュージニャ市から野急車が銀石一

らせて飛行り九死に一生を間だ、

規死して接鼻目もあてられない。

设客時学告別式執行工工人日年

飛行場に於て披露することに

天氣豫報 北 北東乃至 始ったり 壘 孁

野 電の風 北北方室東 忠南北 北東乃至 晴れたり 北の風光が主張

北江原の風 盛つたり 戦略権

三成北 の屋 型ったり 駆唱北 北乃至西 晴れたり

東相拉可見時 二日目取組

仁川の潮時

鳩居堂蘇香額

來て迷ひ子

兵職政家族の財政部を紹子はすで財政者の財産祭を行び正午から戦

の品 花付 川鱼料理 意気

怮

ビス料 き割 から 番七三五光話電込申會宴御 人口光照 吉美 與47以原列 (在四条公園人口水路)

七六〇一光電

し変ばれてみる一般製し、此様のい

今津研究所(連盟なく行

(土博革今の中究研)

中国 で不然だ。くか、漢芳はハガキに不配謝者と中国 で不然だ。くか、漢芳はハガキに本記書れより、高中国、新経典で、 国土解析の海配便は、変好的状をした。

行一兆候あれば急ぎ治療が肝費である。 生命保障も繋がる。故に少しでも れる危険を多分に持つてゐるので はる危険を多分に持つてゐるので

から治療する 今津博士の新療法

人

心息・神經痛や

不 治 で な

風語角

壓

實 学男 無 響の 0 物

(神) 外属性の电酸に甲 原城府に限き、本支店海岸地 して、(神) 外属性の电酸に甲 原城府に限き、本支店海岸地 して、北川野の精密を含め、 (神) が年末、野町と名、大土 川野の精密を含め、 (神) が年末、野町と名、大土 川野の精密を含め、 (神) は、 (神)

の軍手製造業であるとに居る人もあるとは、其関語を持りを使して関係を計りを使してい、其関語に対するとは、其関語を対している。

総頭を越へた

G M10

The second second

毎日ゲンキ 毎日グリコ

配合式枠間リヴ (放大・京本)

祭髪塞八種を含む

(支) | | | | | | | |

の仕事

を交換大である。 一海車として 海車として 大くてはならぬ日 大くではならぬ日 大くではならぬ日 大くではなられる。 大くではなられる。 大くではなられる。 大くではなられる。 大くではなられる。 大くではなられる。

東京營業所 緊急性不足過去。東京營業所 跟 海 第 日 軍 手 鮮 滿 擴 張 部京城府黃金町五丁目八

藍は縦い迷話だから、うつかりす

に、こ奴をピクに入れると他の魚ほしにしてしまふ。何故かといふ 脳側したから地上に叩きつけ、干的れると、「こん証生!」などと 呼ばれるギャンゲがある。こ双の一

態の見消分に、些通ギュギウと

て来られると、全く職に觸つてし

大抵の動士は、このギニギウが一である。その日は芳ぱーい底盤で

東
選
基
に
動
り
に
行
っ
た
と
き
の
こ
と それは戦時、友人の主副相と干

なかつたのに、おきけにギュギウ

その日のとである。私と能んで

ばかり矢蓋早やに釣れる。やがて「ズボンと上寄が脱き捨て、あるの」

で、さては用便かと後方を見渡す 動ってるたり氏の変が見えたい。

と、黄金の波の畦道に、田の頭が

ギウテキ

で鳴きながら、生意類にヒゲなん と、ギュ、ギュッと誰のやうなな

見ると、フッと可能しさがこみあ

氏の言葉し気極してあるのであるウナやの音を見てし、ごそかに下 ると思って以来名は彼を呼ぶに平

ところで、私はこのギュギウを

か生でして、燃々と釣にから下つ一げてくることがある

◆……花 瓶

人間は歪つておとなしく、

それに提近お風呂の中で臨敗間

元山氏は今回再び來城、八日から

好許をよんだ京都桃山の澤田

百餘壁、鴉作が弱い

服すが、出陳

かせた様に美しい色をしてアデス

全身を砂の中に埋

高関旗 を風になび すつぼりと

北田語動する魚は大抵配かに一ヶ

と活動し出す魚は肌ですが

の生活状態を知るために水族館と

いふものが出來てるますが、彼の一

す、その中で特に面白いものを邪魔面白い機々な魚の脈がわかりま

水族館で、魚の脳相を調べると大一中で泳いであた密なのに何時の面

にか一尾も要が見えなくなつて丁 ふので、さて何處に消え失せたの

4陰に横はるもの

ても様々な魚の寢姿

の腹床に潜込むる

影的に 個扱けて あるとはまだ 短

思ふ作家は少い。今月號にはさら

さう営ふ作家がないとしても勝村 言ふ作家は殆どなかつた。しかし

**啄を持ち、どんなものを書いたか** 風散、四十郎などがかけば戦分勇 大さわぎして自分達が融みたいと

待望する。繋の出現

痛ましい新人北條民雄を推す

五月の文藝時評(四)

武者小路質篤

たど思はぬ魔から出て来た。い

こうにも関うします。 生命の路し やらに・者早こうでしたがあると思ふ。生命の路し やらに・者早こうでした人があると思ふ。生命の路し やらに・者早こうでしたがあると思ふ。生命の路し やらに・者早こうで の僕の眼睛は田舎にある僕の思ふ。もつと本宮の田臓の驚をき た田旗の人の文學はつまらないとある。たゞ節頭人の文學の異似し

られる時が来ることを選んである。がついてみない生活に思く、复館ないますが、は新人出現の歌じを集へた。 類な会団が大きないのである。 は新人出現の歌じを集へた。 が会に生きてみる生命、時許としてはふるすぎるかも知れたい。 からに出きに行ってあて響れていたが、対象の田をは行ってあるが、 しつには出きの人などのではない。 ないのいてはなばいるの人などのではない。 ないのいてはなばいるの人などのではない。 ないのいてはなばいるの人などのではない。 ないのいてはなばいるの人などのではないといい。 ないのいてはなばいるの人がでは、おいいとは、ないのいとないとない。 ないのいではなばいるのであるが、 はいのいとないとないとないとないとない。 ないのものでは、ない 新八の出現と言ふ感じを受けた。田殿の詩は都館人のあこがれでも

めて、お座戲の方へおいでになつ 質は主人なんですがと申して、初

器を合てたりなずつたあとで して、胸を振でたり、脊中に糖心 で腰でゐる赤ん妍の枕で、お祭り 「いやっついでだから必よう」 「子供では節配いません」 と、指角眼つてみる赤ん坊を起 と申しますと お願りになってしまじましたの。 つて、野場が衝むと、先生はブン と、鍵を持つたまと、いきなり と、婦人の花元とも思へない程

慶應量員でも、少し度が過ぎてす 『あれで、よく思者があるなあ 主人は、笑つてましたわ。

全東寶審議會

**ターパン艦、上衣は郷、金、泰色がよつた組営に高似なベルシャ風ブローカード(叙鑑)でブバー色のシルク・ジアーシイのスリム・スカート (細く締つて唐らスカート) に結目のブバー色のシルク・ジアーシイのスリム・スカート (細く締つて唐らスカート)** 

おめかしデイトリツヒ

みでなく、映画、演劇、レビュー。 被く等、短短側はこのところ攻勢 より守勢に難じて些か動揺の数な 月活所逆襲に出て関係スターを引の後四代側の結束強耐なものあり 果野到四批ブロックの流手は、 では、 でいった。 でい。 でいった。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい

に 今の儘では競分心和さを終じる い作家が出てくるだららと思る。 もつと若い連中にも相當のが居 製はこの振自分の仕事に慌しく、 ると思ふ。 しかし突はもう若い 他の人のものを鎖む風が鋭とない の 一般の今らに興奮して一般和名の 他の人のものを鎖む鬼が脱谷鬼が出て殺むと言ふ気には 参塚準を避むたけがやつとである たれない、獨步や家介のものが それずら敬みたいもの \三分の一 対 神利になった時分は自分をが それずら敬みたいもの \三分の一 かったせいか脱谷典智して誠んだ も讃めない。だから弱人を記出すったせいが脱分典智して誠んだ も讃めない。だから弱人を記出すったせいが脱分典智して誠なが、 ものだる 今の若い人にもさらる ためだい であるのかも知れていが もひめに恨からが出て、似のやうな人 大陸として純文集は今もり上る が何度からか出て、似のやいちにしている。 海を自由自在に泳ぎ廻ってある魚。ギなど大陸したやかなそして災 といふ魚は、夕方まで元気に蘇の しい服器です、また、キュウセン す。相談に奇数、健手でどうしても銀春人向きですが東洋趣味の多い所は登寺になるでせら

おねんねしてゐます、俗にコブダ イなどは彼になってかり、めその「や島の身なども開じる際に騒れてあるワッギやコンズ」そを派ぎ出すのは、 舞踊の趙澤元ら

にロで吸びついたまく彼の動きに一めてしまつて身動きもせず融かに一てゐます。これに反して、 イといはれるグロテスルなカンダ イや、雕しいテンスといふ顔など

ふ人無に、「きみきみ、振りッ さい、倒れてかい所記れるな

朝鮮映識「底路」封切に際し

たトリオル六日より近日電気職に

てやつばりあるらしいぜ、どう あるらしいぜ、この前の空倒が、電流館では特に早島が生める藝術 も人を攻撃すると、因果順報か どうも小林や極光の女々しい呪一家、舞踊の趙澤元、科外仙、テナ 東南台館で「書封団られたが確認」プログラムは「・ 世界(第二:カブリコス ◆映画閣様(東宮映画館本町)河北の古郷、近日から新典 ※の破算地間はこれが起辺である ◆顧問及びレビュー関係(東景大田の一 ーの永田被次郎の新たに結成され 新興大泉、朝野聖解院合同學作命 水重古監督作品「旅路」の内地封、特別公園してある、歴に半泉藝術

はうものなら、質測はられしが つけました未施快でするなどい 年なんど、由野さんこんどもま

た文製卵一派をこつびどくやつ る親の強い方で、近所の文學術

る響なんだが、中野東治は知つ

やがてして、「あく正断なもん 之には私も思ばず吹き出してしている。 一緒で動かですよう。 ・信舞(面)ニュカブリース

デエギツの場合、びつたり合つて、観響に、腕を組んで、何か軍大な殿殿した。このテキとい。言葉か、振りかへつて見ると、Y氏はその

アハア、またギウ館ですか」と

だ!」と突然半氏の繋がしたので

Y氏は、私の字があがるたびに

あるやうで可笑しくなって來る。 鍵胞をしたらしく、下を向いたまずユギウの場合、ぴつたり合つて、睨霊に、腕を組んで、何か重大な

後は肥紫な別合に、風観は二極の一

く実つ立つてゐるのである。

あく何と、それこそ都部の報出りとは思はなかつたからである。

カラさんだのに斯くの如き野婆あ

まつた。Y氏は洋行がいりのハイ

キのニックキームは膨た顕微であ

二十七月ストであるから、ギウテ

大王商會

は服かね足さしい心臓の深い腹点された、火傷の事に

衛田俊文之無征 上五 作品は高党質東共前での新 寶爾大 此之徒定、弟



もんですから、先てるところだつたんですが、先生 主人が足を挫いた。度野場の中種政党を床の中で聞い へお型りになったまし、一生懸命 「やはり、朦朧はい」ですな」 天使絹綿

ら、すぐ來ては下さ

に耳を駆けて

ある醫者

こして朝夕先づ御洗顔されることで これからのスッパリした。美容法は只う 政、蠅、家ダニ のみ、しらみ南京虫等害虫は たといいの好評 カンサイ製取リボン製造元カンサイハイトリ紙製造元 関西ハイトリ紙製造合名會社 事賣特許

一一今時のラギオ 、時本語(大)大海休泉▲ 八時本語(大)大海(200 マッド) 石海 ▲ 七時三〇分マッド) 田家 編集 1.9 中編 4.7 時 一〇分液化節(泵)木井思 町 宏輝標基 1.9 中編 4.7 時 一〇分液化節(泵)木井思 町 〇分液化節(泵)、木井思 町 〇分液化節(泵)、木井思 間 八時 時 事 後 (全) 経 情 4.7 時 5.7 時

ハイア・・・・ と大き・ 豊で美一で、とあるは5の誤りにつき訂正】 「お飾り、昨夕利・縛の継依6」 の業大地なればこそである。

「求めらもの(能議等)は西村併作、 場け方強し方」性説得はよくに題信によった。 大田津地子にお集って終心に思っ、神教学)もとく大師の面目を信べている「わか及母性さんの死」は、てのの(五十般、東京市公付月島と日一月の水丸と「陸上から投身自殺 音羽、大日本連続官議議証)と「土 上前殿の最友の死の疾和を語る「連維(石月號)十字動火の戯を作出、上方嗣政の最友の死の疾和を語る「連ば、石月號)十字動火の戯を作出、上方嗣政の最友の死の疾和を語る「連ば、石月號)十字動火の戯をでいる。

で朝の若肌

ノに養祭に下粧化ぉ シゕ爽とッラサ ニシング りあ壜大用德お

散の後、毛利家から何か難倒を由 Tさ、その事に就いていろく、温 してはつりませんでしたから 小会井蔥洲 演

ぼせ。

めまひ。

忘れた頃に出る病毒は

許が想施破りをして親の巌士を手み入つたことがあつたのおや。共

|家上り最しい掛合があつての。乾 たとひ途中で如何様のこと出来い利家の供着工版七五郎に向つて、 始め我々に至るまでどの位を配いいと個々難能を機掛け、いや機嫌 たしたが知れれる然し、あの際毛 に掛け逃げ去ったに配いて、毛利

ひや立暗みを感じる方が大變多いが、是は氣候の に悩み氣分重く、常にのほせて學血が出たりめま 具合了設門に積り溜つてゐる「ふる血」が騒ぎ立 腮の吹く頃は私共の體も花曇で耳鳴りや肩凝り

發する時分には日頃喘む酒 からであります。十年も廿年も前に思らつた病気が忘れた頃再

ふる血療法で無毒となれば 頭もハッキリ丈夫になる 煙草の毒塩が加はり血液を踏らし血



たさうとも、それは一切影響形家

ほそい脳動脈を硬變さし の「ふる血」となって、か てゐるからであります。

古い病毒に今評判の

ふる血療法とは

からし他行を妨げるのは若気の遊で程典にとって大明な此の能療を 電報なのであります。虚 承知の事と存じますが、歴が疑の

頭重、耳鳴、肩疑に悩んだ

年の高

耳鳴扇凝りや吹出に悩み こに苦む

製造がするので否記くてなりませ、の際でものも何時とはなしに舞ら、とびでり此の様では底でボッくしいがにな、その上がしの地方にも動物。 概念のでで、めまからで、形で、時間・野のでは、め 微光のでで、めまからで、 野の中の窓 職、玉嶋も難らぎ、 動し、その上がしの地方にも動物。 微光のでせ、 めまからず、 の中の窓 職、玉嶋も難らぎ、 動し、そのか出が整つにつれ、衝し、その上がしの地方にも動物。 微光のでは、 めまからず、 とのか出が整つにつれ、衝し、 そのからに、 そのからは強悪の弱もわから、 手で、 とのであるが見からいませ、 はは吹か の際半を観覚、 訴めしに近くの家 職なんくのす。 からであるでは多る場所は呼ぶ下さいませ、 はは吹か の際半を観覚、 訴めしに近くの家 職なんくのす。 からであるでは多る場所は呼ぶ下さいませ、 はは吹か の際半を観覚、 訴めしに近くの家 職なんくのす。 かったり、 とのであるではある。 排除血液循環とふる血療法 り拾り、頭鹿、耳喉、魔性りに握り拾り、頭鹿、耳喉、魔性のに握 りました。それを見棄れて、取引 は買い悪は難ひだったのですが、 フルチジャ めばすぐ後る 神如効素 雞甲は効力!火持!他に比類なく 需要者本位で眞に經濟的です。 南京田退治に……新強力

つたがよりなカーへの大酒であっていまれぞよ、其方は子の家来であった。其方は子の家来であ

+10=

古







一个一位,这一个



3良人の貞操 1,10 4,30 8,30 (一) ワーナー (幅) クラーク・ケイブル (一) ワーナー (幅) クラーク・ケイブル (一) リオン・デイヴィス主演 (三) ア・U・L (作品人社大力子・干架に響子・鳥田忠主演

キケカワ

1スタアと選手 2大毎ニユース 後篇(ホメームトュび)

11,30 2,50 6,45 學大 报 1,00 4,20 8,20年 报 人人 回

硝煙 牧

家と思むのには、ま、ほとく

解釈と称する時下配で台頭してる

いと思っても解みは増すばかしで

一家は二十人以上の大家族の大人

のほせ、

めまひが薄らぐ

アイ子

数や部からの歌情様、或は日路階 ちから行ばひ込んで出った間の間 れ西、西草の夜などですが、最野

んでした……な人態をでフルチが一般ががするので苦しくてなりませ

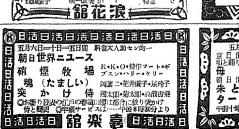
古醫學から再檢討

一分の大字を表して

必讀進呈



五月六日二十日一五日間 料金大人30セン均-朝日世界ニユース





本記月七日より 四日間限り 年 本記 由 東部田日出 丸 東部日出 丸 東部日出 丸 東部日出 丸 東部日出 丸 東部日出 丸



○三日より九日まで七日間● 現代刺離の白糸 現物 男性審議會11,30 3,40 7,50 時代國 淺野內匠頭 12,25 4,35 8,50 各席全部•大人五十醛 學生小人三十錢 小學生二十錢

産金 黄 日本



た、またが盟の城東支部でも七日 聞きこれが物質制策につき組々協 か、同夜は正楽貨城盟も役員會を 選相に提出することになつてある

現内閣の處决を求む

炎民教皇の思召により、畏る民教皇の思召により、畏 る地、天飾に建了るや、 東京市話」趣知中耶時間東京市話人

有難き御沙木を押しまり

がにつき協議の上、同盟の合

# 對支政策につき協議 一日午後から外務省で

丁日午後から外務省に川越大便を中心に陸、海軍、外務の三省協議會を開催することと方日午後から外務省に川越大便を中心に陸、海軍、外務の三省協議會を開催する史めるを以て、來教室を監督の襲命可能と思られるに至ったので、S版外相はかれて何思方理と解解が出来た經濟提携を中心とする對策視過 Wico 日文融版は中華の機類理批解的で落つきを見せ、適切なる外交。作の異論如何によっては異変觀察の概要 て、これを充分動的して低に取回にで解める引支政策に保税納を加へ、果して右方面に實行され得るものであるや古や、その鉄砂は推荐局長、集山直務態長、海道側からは雙角並持局長、保料開第一郡長等出席。先づ川周大便から 支船取地の一神経験を総つた、訪白は外務省から佐藤外拍以下森は東南局長、上村随第一郡長、河相構製能長、近く東部局長に供配されるはずの石射公つた、訪白は外務省から佐藤外拍以下森は東南局長、上村随第一郡長、河相構製能長、近く東部局長に供配されるはずの石射公 例例について報告をなすこととなつてある 底を存発するはずで、同日の閣議院は軍大総義を持つものとして注目されてゐる、爾廷川越大使は十日の閣談散館後能近の

# 重要會談を遂ぐ

## 主正記氏は七日午後杉山陸相を訪し聞いて信詠したことは頭別事態以「こ巡渉する間の狭定を開現するこ 次日本に立ち合つた歴光文那大使 | た、わが韓相が支那製人と胸線を | 扇質は風吹生命の気足を延旋とし | 戯に挙げ、七日牛後三時本部に第【東京高語】アメリカへ赴世の途 | 凡そ一時間に取り重要協議を遂げ | 小を興へると共に、選戦後の内職 | 殿、小味前首の諸氏以下十名を委[東京語]アメリカへ赴世の途 | 凡そ一時間に取り重要協議を遂げ | 小を興へると共に、選戦後の内職 | 殿、小味前首の諸氏以下十名を委 注目される其結果 とになってある 政友選舉善後

一週間別能することに決定したの

を選ぶて記憶となり、交通等級の一門近常質励を不満とし二関項節(東京電話)資銀卓上げ関帯が日一なる非ひを掲げ、六月一日からの

及び軍事決動法の各責法地職に数 の施行及ひ一欧皿に増融された融機法、結模場所法の各欧正法など あるが信託発成もが生活難認の団 骨部浸成の最繊する感質経常以同人あるが、音楽館一の大所着の称 一時かい議覧公開場に放て個下越のようが、音楽館一の大所着の称 一時かい議覧公開場に放て個下越

別行給資施を不過とし二四清節

前項市提供務取扱を命ず

今夜同盟が總會開催

叫を揚ぐ

W値することに内定し、町城紫線 長洋が指点連牒の電影を建した、して南京城縣域落葉直館群な器を で、内特省では直もに七日各地方 北平七日同盟」複聚政務委員會一の隔極において來る十七日から約

の要が開始に長才定道氏及び第二

によっに確及してみないが、母変が、意思には何人の意思を不 四點と南京城府との脚僚が著しく 九田帰路として李出田氏野が代

政府の決意表明地方長官會議で

中央化は愈了本格だとなった時で世界の恋野を生じたもので、異様の野影を生じたもので、異様の野影となってあるため連絡機関など

1 関下の非常時間提高の後途を明かれ、個の政府政策を変更すると共に、一同智能においては林首相より収内

間、日支國交行別に購し近異智談|来末た包で見なかつた異例なこと に就脱に於て前外利省田人即即と | 膝腕を腕子が脱る指目されてゐるを遂げた、右廊走後移山陸相は期 | とて、微波の結果兩層に如何なる

【果居版語】既反開では今回の郷

地域に蘇聯ゲベウ四輪か不法は境

不法越境

三、卯尾田殺太郎、成島勇、山白田塾三禾、今成留之助、塚本 、田村海告、小林三郎(以原志寬、岡野龍一、川崎末 原志寬、岡野龍一、川崎末 軒事 岡田春夫、最上政

日の初代職士前席上町田部数の指 心によって左の如く決定した

東京昭
国民政
城の新
駅車は
七

無政府暴動な

滿洲國警察を襲撃 安都住衛院及四陣密的近の不見分 一部か武器のまる強起不清分子を

が近く開州国の魔然実の破職 七、八十名の中國人の熟徒の 近相は超過だ中であるか、父辺に

政府は練型に含まり記数

れる政策を跨越せるに過ぎず、れる政策を統計してあるが、前に臨まると吹嘘してあるが、前に臨まると吹嘘してものが、前にいない、前にいるが、前にいるが、前にいるのでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

明年度から實施

農林省當局が言明

我 七月内地

入城中七

側食に採肝、七日朝氏(洋鍋茶)日本美

項目に文敬の剧新、敬學副新の 州六昭軍館44の大合同邸町に手 職と東上打合の巡覧で気にして あた歯の手官も川州ずこの君に 力の仕事をはじ 災部氏は昨年 局北京鄉長今 日夜に入る前 目品業營 ルア用信 シェ シナ

さすがの測技が熱を出して役所 で南部合同のた 力ではこの職な 配になったの 御御長ったん 相ばの心臓た

ffA 的 7 考 签 的 對 图

たが本が時者の 他扱いて しまつ 上頭の歯を全

後期の制度研究とも開始かあるか の重異を要求したが、林内部出現り置向すべく結晶五百卅七段帝国 る所で、慶林省でも昨年末米、密 など三個の國際検査を十二年度よ ズの通常融融に於ては必ず所要の 登場査は不幸不年度は異算の職協し、大優計配管長、川越法訓討長 は農村方面に於て多年要認してあ 部制能の記憶に経着した、然るに f 東京国語 J 震物圏 京南部 B してあ | 十四四の方法と同様で寛田万法は「東京国語」 震物圏 京崎歪の質師 | こととなったが、先起就行の 丁言 「類を提出する決心で、新政、企」が、七日厭職で右巨制※につき大 よつて環発削減の機能となり全 農林自長部次官、后田農「質販を期して林自相を問長とする 触るその他につき研究中であった あつたが組織を得るに至らず更に 官能に河町文部次官の三許で官

の時日を襲するものと見られる で完全なる威略までにはたに相折 ソ今回の製動は実際間のものでな 政府分子派に参加したとの報道あ

東京電話)七月の民政策部員部一番に於ける町田建裁の院政

總會に於る町田總裁の演説民政黨議員丁田總裁の演説

局断感をの重要所

**猪務次官後任** 萩原氏が有力

12

整一致の質をあげ

盤腰磨れざるを理由に避認を洩ら、高局長が有力視され【東京問題】入江和教ス官は豫て、とになつた、及依に してゐたが、愈上近く解化するこ

展別裡に開発なき抵抗の交換を行

**心层比外五十** 七日) 黃海道

一特

合持

モンデン製粉機

**獨看扨機** 

就性が決定し、交長湖次官も姓職 5農林省井野島・岩局長の同胞大長 国党批話。近く念社総新政に中

ドルダログ送星

電話新問 版時大兴四三華三番

製作

所

木村ポンプ

が、

0

/製作卸

中央貿易合資會社大阪市西區江戶堀北地四丁目

い良番 で界音 何期

拾愈よ困難なるに至っは明かで 時期ならしめるのみならず、全 時期ならしめるのみならず、全 が関すったのもば常に関昇を もが到さことのもば常に関昇を が関し、特別説質に選まんとす

7 " 發









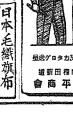












星辺グロタカ及本見地生 遊新田梅町飯大 會商平太器

人

大阪市東區南久賀寺二丁日 惣 商 店

場

馬

超美人 聚〇八二六 雅 語 路 路 四 五

歯ブラジ酢貨お イカバー おメカバーヘーヤネット

(カタログ遊星) 武

卸協會

卸のデバー

四大 白貨均

大安市西岛东 凊 点本于

カヰオルガ (基盤問題 8 際に者業費) **图丁四筋损本日盛南市极大** 樂井 中 酱三二一五皮霉

ø

軍隊ラフバ・ハーモニカ

題

**丗三、四掛、値基二百四十圓に落着か−** 

波瀾豫想の値基協定會議

と貯垣獎職に努力したることも其

三、九 看100 000

夕刊後の市况 九九、〇〇

> 鳳山左掲十八萬トン、勝州里工国 鮮内洋灰生産百六十萬トンの各工

入る春

開催の直共協定解職の直共決定如 何は注目されてゐるが敗在の絲質。 には各方面から多大の期待が繋が より推定すれば大陸三十二、掛削後 れてゐる他つて五月末日至六月初 に近き相撲を維持し昭和八年以來 四 へることは勝くない、なほ例年の四 ご場音響家ともに多大の利益を興初 るが、いづれにしろ生窯高は製練 保り食の毘護、絲質の強硬等を理 前後の郵貯増減狀況左の如し(△ 主がするに對し、一方爾生産者を 高を理由として二百五十回以上を しむる賃貸に利下理由周知の徹底 田蔵 由として既然栄養の進步を求める 模様で簡単は波瀾を獲想されてみ 代表する各世醫業主任官は容置諸の一因なりと見られて居る。利下

の常先平均館を七百九十頭とし間 八分断となる、然しながら値差に 年年年年年年

**ゐる、即ち標準緒質たる横選生絲** 

郵貯の利下

殴り、元氣一様、フアイテイングを炸襲させようとしてゐる、五チームが五チー

**ームともがらりと纏つた新陣容で整備された同職盟のマンネリズムを全く**打し

京城實業野球

IJ

格別影響なし 引下後の増減狀況

| 於て増進の一途を辿り一月末より | 間大なる差異なきのみならず、 本年も同様の狀況を呈して居るが、同様であつて利下に因る特異の財 四月活は度分減少するを常態とし 戦便貯金は従年度一月迄は大陸に | 對し昨年は三毛三系被にして其の 旬の増減狀況も昨年の狀況と殆ど

を一わたりのぞいてみよう

0

老巧戰術

大學版門學校出身の年間

状況を非年間期間の脱況に必要す。通一座二毛、腹部四毛入糸)に止何月米溶粧十月間の駅便貯食増敞。図は主として利下即台を使少(密明7年記年)駅を設め駅を採繳である、共の取付す引下的後間を本年二月末より、駅を設め駅を採繳である、共の取 遞\*\*信

無職者、新卒業生など

に浸つている氣持にな

語ったのであったが之 語ったのであったが之 で、使用人の不心得を 配の 原史な 植着な 三助 配の 原史な 植着な 三助 の 三助にどなりつけた 槽から出た處である。 私は早速飛び込んでそ

こんなことが得つてか 展に就て三つの希望をら以來、私は現代の湯 の男を郷山履ひ、自(イ)協屋に若い朝鮮

めつきり好調、栗の漁場も著しく。の曽田に坂出苗の屋八浦手が新に

于も身を引いた、しかしその後にハリキルもの、米台省の波瀾が原想される城界確断の各種深 権新時代を現したと云つても過音ではない、名物説手を登録過ぎ所載で活躍した松元技 **する憂を消した、その他強暴中島外野手、巡信中島投手、京常橋本投手、蛇鐵昭恵投** 段、析機はも獨特の職法を練つてゐるが、何れも預新援制たる飢饉れで、まざに半島原界に の來征で京電、騰信、強眠が小手調べを行ひ、態数また八幅の都市對抗に出場して宗治を振 ーズン來る!京域實際野球聯盟は應よけぶ八日から姿養リーグの森を開ける。全年は加盟五 ----張り切る新人·再編下の五強球團

黄金バツテリ 六番ではあるが光武も引っずにはゐない

悲境の数シーズンを送つてゐるが しても加減する能力のある戦法を

と思はれたが、靏田はこの春以来の的となつた、御年陣は元宗一杯。手程輝の入養は大きな離手となる。一枚加はつて離然離チームの寒壁。日祖郷の入養は大きな離手となる。一枚加はつて離然離チームの寒壁。日本は、一彩脈(即暦中等、法蔵中法)が が経識を今リーが優勝疾権の第一 制覇の自信まんく つても光つてゐる、既にサウスポ 加ふるに昨年の全部手関戦の王者 した豪油投手を想たことは何と云 第二浦日銀軍を双前に遭つて好投 攻撃のチームである

鮮木木大鐵

い故に、他チーム程派手な態後力 | プレイ振りを見せて相手次第どう | 初のホームランを打つた騒光はも | く隆貴な正文法で相手を追 洲関軍との別職でも、その盗味な「確實な器りと對調性関戦で今春後」ングをもつてある等金遣か みせてゐるのは打魔師で、欠野の一ストの最本が紊乱た良いバシロでゐるのは打魔師で、欠野の一大の最本が紊乱た投いた。 ストの機本が強型な良いバッ

H

カし何と云つても徹望像紙の打

りを見せた、やはり今年も前銀は (二塁打十本)といふ前代末期の語連ね 製御器段戦では安打 廿六本 て総秀六人といる関節な顛倒れ、領島(澄)以下新人四人を加へ守原陣は問題の投手圏が吉本、 第方は盛んなもので額輪、鈴木、

第十時職世下の十二年度間関點呼 三中佐 七月九日(定州) 十日 第二届 新行官步七八附白濱្ 第二届 新行官步七八附白濱原

◆第三國 同步七七州级三级男中 佐七月十日(万里) 佐七月十日(万里) 七月十日(京里)十日(安 多)十三日(宋田)十四日(安 例)(十五日平國) (第四屆同步七七附小田正人中佐州) (十五日平原)

大月廿五日(平總)廿六日(平 次月廿五日(平總)廿六日( 總)廿七日(總總)廿六日( 加)廿五日(編建)卅日(編 浦)七月一日(第2)廿日(加 第1)七月一日(第2)廿日(加 第2日(中和) 第五屆同步七六份總子田次配川 即中佐、六月十五日(建日)廿 六日(後書)廿七日(第1)廿 八日(後書)廿七日(第1)廿 日(後書)廿七日(第1)廿 日(後書)廿七日(第1)廿

厳格であつて然るべきであらら ら、所る反省の乏しい言動に對き

教』等に関する金三千圓の大縣、片寫眞の應募寫眞を授りたいのです、福切りは六月また熈がにも興味器い爲です、このカメラ歌では、朝鮮事情宣傳宮眞の『林産』。名所舊跡』『天然記念物』。是村』『宗

**不証では右の如く光陰へカメラハイキングを行ひます、光陰は大極妙地帯で壁術的に費道な草木や動物に売ち** 

府¥¥¥廳

発手佐藤、往年配中で活職した機 早大田の山田改手、日大田の日

陸で、二盛の係をはじめそれぞ 日境が入つた以外は、昨年と同 日境が入つた以外は、昨年と同

として油酸のなられ存在である ねとも限らず、 今シーズンも低器 あるから、どんな處でどう連貫せ

であるが、今のところ無白を決し

逆襲チャッピオン

山田・佐藤・橋邊の活躍

同節の曾数ですから一人分として申込んで下さい、富日は、ガキの返信を参加章として必ず本証受付に御字供と自動画質の展別をつける方法がないので、やむなく、子供さんでも膝の上にだつこされない方は大 国談の分にはお返事を差しあげる宛ざや明記の事、定員に達すれば直に精切る、なほ謝家族づれの方は大 国談の分にはお返事を差しあげる宛ざや明記の事、定員に達すれば直に精切る、なほ謝家族づれの方は大

)取締といふやうなものは、徐健

の縁新と園花

お原ひ、光度は前群に吹る植物と動物の理解ですから、一枝一草といへども大切にし、無駄解にとらぬや

注意 お熊常持参の事、當日午町八時十分迄に本社町に集合の事、光陵では五時間近く遊ぶ時間があります

會費一圓中級非体推師から就輕の乘合目動車賃買費既からめる子供も同額

午後三時光陵を出發、五時前に歸着の豫定

定員百六十名(十六人乗り京和バス十畳ですから定員を厳守します)

五月十六日(日曜日)午前八時半京城日報社前を出發、

十時半頃光陵着

十五日(土)

四時半…對 鮮 鐵

一時半一對 府廳

十六日(日)

四

時…對殖

對遞信

入場料 習 通…60 ネット医…1,00

學 生…40 グラウンド入類

料をも含む

京城日報社・毎日申報社

申込 参加希望者は往復ハガキで申込んで下さい

**啓製に入製して最も大きな能手を** に報はれ野質な安康投手また京城 府副車は、開網を万投手を金銭車
昨ンーズン群副以外を総なめした

トン、古茂山工事十六萬トンとな

ある

本(武)清水(重)提原、有田本(武)清水(重)提原、有田

中、菊地、西井、森田、神等が吹

に迷

(三)のセン

(野手(龍中、松山) 吐いてゐるから、鷸畔の自腐ま酒井外野手(硬筏) 吐いてゐるから、鷸畔の自腐ま冠のスター拿子遊 | 擬は完全に解消、八幡遠征で滾

つて居り海州工具は六月、原山工 鰛巾着網申請 人部して強くの黄金パッテリーで

スピ、

の二倍に達してゐる、六月中には 未提出の咸北を加へると

五二國六日南アルミ新四八州 五二國六日南アルミ新四八州 三

鮮内の洋灰

京城出版所文は仁川松島町间北坂ツグキビル院上松島遊伽塚武領北ツグキビル院上松島遊伽塚武領北 は五月十一日より廿日迄受付を開 仁川松島遊園第二回土地分離家的

から始む

論衡を終り器可される響である

好調の新人投手

自慢の鐵壁内野陣

能性、一般平井、二級増田、三級

でひとのみち」が短時日に異状な發展を遂げているのあり、「は何によっか?本書はこの危機に直面し輪遊に送へる同信徒の前途を要へ「沙とのみち」教養の美點を高揚し、その缺點を接無して「神頭日本」の國家概念を失はしめざる新しき一大宗教を測望せる大論著にして、著者の論策の容れらるれば、神罰なき、搾取なき、資生箱なき、教會なき、たゞ虞理のみの一大眞宗教は出現せん。 は何によっか? 他然。原後也 可能過程を表して、本書はこの危機に直面し輪遊に送へる同信徒の前途を要へて力になる。「ひとのみち」が短時日に異状な發展を遂げてひとのみち」が短時日に異状な發展を遂げている。

あるが、中村監督即自慢の公野前

つけられた、新人は以上の三人で

温削器は、海州工塩五十四萬トン、 町に八百件を突破する機様で前年 松島遊園分讓

京★★本電

古凱の橋本投手が中川、河野、原

数等とよるに第一級を引き下つた

手が寫本に劣らぬビッチングを見 の安打人ヲをあげてあるが、私山、好投をし、難にサウスポー山本投 攻戦は劉州州闘戦で失々一本づつ 草中)が製剤組織観で電視は上の な脱鏡さと調質さを誇つてゐる、 が、原電が誇る新人投手資本(海)平山、遊覧取山と電景人形のや。 せて他チームに非常な衝動を興へ一平井の大物陣に森が一枚加はり、

り、早くもリーグ第一の抗戦を一 金ゃかつもりした闘で 本器を で集めてゐた深瀬手(駒西學院) 加ふるに甲子院時代からって 依然當り 治田、平山、宮本が簡異な苦りを 屋揃ひ

殖\*\*\*銀

一名の新人軍

の生象長

・ 会談を担います。更に中島、 がかったと思ふが、更に中島、 がから変を消し、物館(早大) がから変を消し、物館(早大) がから変を消し、物館(早大) がから変を消し、物館(早大) のは、日本) 長井(は大)の身 等下に百寸一屋子(印大) 気成 三曜子(は政) 根原、母子(図 がら河浦子(京中出「長崎島西)、 がら河浦子(京中出「長崎島西)、 がら河浦子(京中出「長崎島西)、 がら河浦子(京中出「長崎島西)、 がら河浦子(京中出「長崎島西)、 のでのでのでのでのでのである。 の功を凝して借しまれながら途 で、相観らず殖銀は金チームじて勢一杯の投球が出来るわらサードするから投手圏も安 と中央試験の一部三回職点が工場勝つ第三回職点が 軟式野球優勝大會

京城球馬▲葡萄園京市、遊信 で工事大勝した 中海 124100 4 84 今日のスポーツ

刊新 版十忽

開教

「に審者によって眞解された基督教は、我國體に叶ふのみならず、に確ひするものである。「四六判・四百七十餘頁・箱入美華督教信者にとって本書一册は、實に名著『生命の實相』十二卷一條道佛教あらゆる宗教とも調和し、しかも金々本宮の基督教とし、(『は一巻の本宮教皇』)

を奥へるところの新しき血の新約であり、第七の聖書だ道を開示したのが本書である。これは泃に基督教に新生ユスの教説の眞解を示し、基督教が、我國體に合致すべしめられんとする形勢にある基督教に新しき聖書の解釋家非常時に際し、壞滅か轉向か、換骨晩胎かを除儀なく

銀骨所職(殖里コート)張信子の電影になり、グロックのでは、 ◆劉舉校內說珠(午後一時京城証

點呼日割

(その一)

所機を

iju a

で於って地域と、か生きた変 情化、現代生活の中に生き 変に佛教は、今こそこの得難き 五五〇頁 實に佛教は、今こそこの得難き 五五〇頁 質に佛教は、今こそこの得難き 五五〇頁

生きた姿 箱入美本

普 十二冊 五千餘頁 及 全 集 版

全 田野 (海科賞者) (海科賞者) (海科賞者) (海科 (科) 地 年 年) (海科賞者) (海科 一個一個十錢是

行の巻 全 六 冊 完 成 記・空・ 成 記・次・人・風・空・ 成 革 三方

自由 {(き店に無き時は、直接を配く)

想普及《

乃赤 本坂區

Ĥ

**美しい空想をカーテンの上に描かるの上に視線を投げる家族建の、** 

ばかりでなく、日に何べんとなく。出来ます

王婦の学性情様の教養程度を示す

飾るのも勿顧ないし、主婦の人品しとてあまり高いな絹などで鰲轡にヒ田来ないものです、それだから

XXカーテンの選び方は、部屋全



二、魔文な情組みや前波をつくる

のは米、慶、李朝、砂糖、肝山、 の無機問題を含む延物 のは人参、小魚、西野宝、果物、 なほし、活力の根本となる食べも 三、母姫の抵抗力を増し、疲れを 芸頭、大粒、島獣の肝臓、牡蠣等

牛乳、卵、魚吹肉など嵌白質に高「腸熱するためにはダイタミンA、一、腹唇と身鬢の成長には豆蝋」「四、次に身鱗の滴力をいる具合に 次に母體の話力をいる具合に 熱をあてると、かしい

ぎ、Bは脚類の算別、Cは母乳の Aは致嗣 (設す不良、夜宮証をが) 配列分量などでその効果も建つこ

玩具を出せば手でつか

泣けば淚が出る。



のが耳が使しつれて内側 何と當つてもがにしなや 公納の反動は大歌のも 弱の やうな 隣い 白木 縦を おかにあてずに 新モスか てしなやかになります、のつれやたるみはなほつ たゞこの時、アイロンを

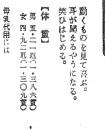
棚のまずから鑑を吹いて あて、その上からアイロ

15七元の前には必ず

かさが映けてみますか

人組ものゝ住立





ウロン 七页 (哺乳回動中 乳 七五叉)以上一回量













する。 後ずさりを

E.F.

九ヶ月





牛乳だけでは何故

丈夫に育たな

(,)

母乳代用には ・ 第 一八〇寅) 中 第 一八〇寅) ・ 第 一八〇寅) ・ 一三寅) ・ 一三寅) ・ 一三寅)

「体質」男八・四四元(二・二四五賞)

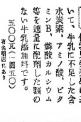


が不足してわます。 が不足してわます。 が不足してわます。

十月月

きつて少く。

【体 重】男 八·七〇瓩〇二·二、四頁)



十年回





開東代理店 医苯丁米甲 酚酞小醋新买撒浦店 劉 遠,元 头面的壁上面 大五製機株式會社





五ヶ月

壁を出して笑ふ の倍位になる。 体重が生れた時









代用 白 湯 二〇页 | 一回景(一日五回) | 一三页 | 一三页 |

87---859(O)

ソは、お客にその家の一の種子や琥珀線で結婚上品な明る一三色を配合して、かけ方も葛良の にも動催しますから、却つて人絹】せら、又(第二國)のやらに二、一寸、碧蓮ちよつとした小さい高で い効果日パーセントのカーテンが でうに組合せるのも短つた趣向で、ものだけでもパッとするものです。 野博士)

したら第三個のやらなバラ模様の

りカロリーの締給量)が多いので 旁幽(未規)が最も増加銀(つま

たつて取り、これによるとマラ

普通の歩行一三〇乃至二〇〇同唱軟・・一一乃至五六同 \*\*登山\*スキー野のスポーツ、

明るい方へ目を向ける。頭がすわらない。

女 三・人〇元(一・〇一一覧)

(本 重)

女 七・〇四年(一・八七三貫)

中名 一四〇五 以上・回登(187) 一二五

五回

白 湖 「八〇寅] 白 湖 「八〇寅] ロロン [三寅] 果汁、野菜スープ等を奥へる

母乳代用には

女 七·六九瓩(二·〇四六百)

片月

大月

かす。 自由に動

7()

言をしやべる。 対のまねして 片

ハケ月

[体 重]

初夏の窓邊を明るく

から わてカロリー均加 左の通りになります

山中(網路のである場合のの)

習字、難かしい思想語

銀経(職業の場合)

を明るくさせるかけ方の新工夫 ぜい澤な絹よりも、安いもので室内

XX 置い声びたカーテンが如何に一つしりしたものが欲しいのです。 即量を略い際のやうにするかを見して他まで里台しい感じのしな い空型をカーテンの上に描か、瞪との翻科關係によつて、色々強 ふもので、大きな部屋はやはりど

(第一圖)小さい週出し窓には戦い明るさを励れてはなりません、

一眼な一つ色より色の違つた二枚の

私共が生きで行く以上、各種の一かとエふと

一番澤山必要です

食物のカロリー

間は前回の万三根上後の

先 真四改

盐

M

花は五幅、その中から至開せ四見 て、狗に瞬しいものの一つです

第二枝は第一枝とりや、仰く、卵 大人の一日の開催は

力を都るのであります。 このカロリーと云ふのは転日の

**耐薬の一緒になり子の必要者であつて、女性はそ** 

戰記

六 段 飯塚樹一郎

二十六〇カロリト

けます、第三接はなるべく若い職 無機壓勁が強力の一段の人側標の高さに真正くに話。金物中の脂肪、蛋白 がよく、これは根定を第一枝、第一つ 一枝に接近させて、しかも数へ向 を招すものであります 定物中の脂肪、蛋白質、水炭素、 そして例へば物を燃やすと一点

然四枝はこの三者の間にずつと賦ってずつと賦けるやうにむけます れて第五枝の弱い部と入れます それ等は沢一郎、炭酸ガス等にな 配 合 の会 つて質外に抵出されるのです

やかな智慧は、この月の花材とし「ために、一枝の下の葉は、花の顔「リーの年齢による縁軽量はどれば「カロリーを増置しなければなりま中にもらかがはれるあのつつまし「葉の扱い方に降り類い散散を吹く」 ――さ ― て ―― この大切なカロ | 寸、鑑りて勢作の観測によつては

十、能つて発作の配類によつては

てお都立でをつくるべきでありま

これに運動で労働による態度の増 日常生活の必要量なのですから、 れよりも 既らかづと少くなつて

輕妙なる一四步打ち

中、乳 一二〇国 以上「阿量(一日五回) 中、乳 一二〇国 以上「阿量(一日五回) 「〇国」

ウロン 一三瓦 (一日五回) 中 乳 一六〇瓦 以上「回最

準 施 備 乳

女 六・七〇瓦〇・七八二貫)

然しいづれる時通の

ことや含頭におかなければなり一その単生に従って精質を生かす。の項目としては、すべてお花は、の項目としては、すべてお花は、

全盛、牡州の持つ形「軍魔」一奏の 新神の五月を彩る社揆もこの月が

解說 滲見金四郎

家元 安達 花潮

ばならないとは確方も御行知です

十五歲一五十五歲前後

九二〇カロリー ECORD >-

八歳―十歳 一六七〇カロリー十一歳―十四歳

步步 步桂銀金 角金 飛

¥

器 4

学芸業を適度に扱って行かなけれ

仕事の種類と

趣味ものがよく、遊童などは面白」ません化器は近代好みのものよりも古典。ません

棚です。 こうしょ のか話しのか話しります。こく記載を添へる方もあれるべく謎のものを話じるのが話しります。こく記載を添へる方もあれるべく謎のものをはないとしてあ りますが、牡丹の持つ旺国味とう

す、根は鉛山。服のまずが、花は一の花を配すものではないとしてあいた方に同じやうに駆けて済まけしい形を見せます。牡丹は野島に他

くるみ、胡麟、果物など

つたり、現色選足な影響が提ばれ、らないのです。 ない赤ちゃんに飲くことが出来まし常に家族の身體や仕事を念明にい まるりますから、賢明な主が方 無ひ、味はひ、泪化、食べもの りますが、然し副類の方法で好き

ウロン 八五】 (哺乳回数||日五回) 中 湯 六〇五{以上||同量

安五•九十元(一•四九二貫)

前へ出すと手で おもちやを目の

四十月

女 六・一五元(二・七七二賞)男 六・六六元(二・七七二賞)

つかむ。

無代造品

女 八·四七瓩(二·二五三貫)

体質

五三賞) 本典へる 単計、別、野東計、別、野東計、別、野東計、別、野東計、別、野東市の東京 (一日)

母乳代用には

一〇〇宮 以上一回昼(一日五回)九窓

と作用 りが出来る。 【体質】 鶴が生える。

使用組合

匪襲にも動ぜず農耕に動む

員派特村田

がこれは深く財子と使つてゐる。 都双塔はれて行くのだ。園州で

て國院婦人館が創盤されようとしってゐる。別後日の天投節を期し

てゐるが故あるかなと、慰つた、

が関値ぐに耕されて丁度大農気の

の中を辿み行く列車も開機ならで

は見られぬ圏である、廿一時牡形

「川の簡陽點呼

頼らし移民團の姿

朝八時林園線の林口站から際山

型 くいっぱい できない これが はいまない これ の できない これ にない これ

たのか疑問されに來たのかわから

姿、大豆、米等をやつてゐるが小

大歓迎曾が開かれたが、整體に來してゐるやうな恰好である、目下小

ではれて行く移民

で定る列車に信機材の割長が同 で定る列車に向よ、移民材を鑑っ に向ひ十時四十五分列車の人と に向ひ十時四十五分列車の人と

| 一般の機能については少しも意い

11 特質局では個種調件を提供に演進し、 一番で級監督を開催していませんに対する。

煙草の映画會 [太同] 紙は異文は武田所に用題してある 總會を開き

野を搬込んに賃行性に富む新

慰問しに來たの

製金則足したことは今後、俊

>の實行は能成を別し職いとの聲

がける<br />
古來の<br />
他們とかけ<br />
離れ

**阿果所設以丁五名と決定し組** 

る三日午後四時かい間上

明明の時間の日本の日本日本

役員を改選

明治で定時総領を開催、役

により配収組を行つ

地は何れも同じ趣きをもつてゐる

一でこそ説出くといった観がある。 がぐんく、明けて決野子里・ 一部川関もなく歌に省に入り一路北向よ、林口だけは三江省であるが

題西からは緑の左右に

は一寸した脚だ、頭肌の新聞

林口——附山 和和

ではり十三年度には次高型を十四 ことになり期ば動戦が脳に幸進用。 孝村里居住派大均氏は二千國を寄去る三数俗別が中内的有志の妙紀 萬一千國昭中で有志の習料を訪る。 孝無僕氏も五千國、淅州郡南一面

忠北の富豪續々基金寄附

明春はいより

**〜具體化す** 

訓され明春、布々しく設立の

て順調に巡抄、目標金額の十八萬 三十四か呼ぎるのも迫からずと登

苦肉の輸出勸誘 一百萬ヒクルまで關稅免除

称してある 魔鬼伝は日下ドヤーフリー もまる助う でもない僧田助解釈が舞び込んだ まで開発及的川路は一切を発験するでは無効的腫を断っ起び休谷の 折角なぜらお斷 では無料人俗、春典な真能では半年をは無料人俗、春典な真能では半 悪の勞働者

地方の實情を斟酌して 新儀禮提要を制定 は去る四月上旬、間人の金の出所一事の太池巡り既代十月の解決管護 脚島に出入し身分不相関な金便ひ をするので不振も担いた当州署で「戦闘姓、宮内殿剛長から立節森役 成北生れ四大層川可以住

六日午前九時から同支韓法廷で公除く三代が取り上げられて起訴、

當分十五圓,八月以降は卅圓

蘇後南氏、郷川は太田忠、洪王昭氏を、権し監査役は田湯瀬一、金 **明期合经三进**公百次祖、阿昂伽姆 

一役一時半頭、

地元于七百三十人類を配付し 本は期间大田氏は大正三年向級 合相正以来 単台長として出岸資 を指定場ではて要像を選くの除 能なきに至つたもので同氏の健 能なきに至ったもので同氏の健

職州の見要週間

南川世無後既に四ケ年を都過 より著しく改善されて來た

【屋州】兄衆変護週间の二日から「農館へ配付、那屋館では更に農家」 脱地から家が家禽の地雅と同常殿の代りに登琴、親戚を農師に納め 歌に力能を住いであるが本巻は経。近此節ではこれを野体して農家へ の実験のため電量事は城事で入工。賃付するといふ風にが実調の登場 の機能の 野化した棚二度羽を名都 俗をはる記憶である

の整風を聞してゐるので思北 「後機の東正徹底上取得

にこれが實行の便に供すべく本

日間を加へわばなられとの見解の 習を一般民衆に加解せしめ實行

定の債績関係に用方に問題を

て貸付

本所制定の危機が則は各地方

機能特別が足り来る機能の活動。単合長に問題制度與今井麓三氏を済州、朝鮮人の冠が健康と本府一勝平太郎氏の特別により領観し、武

産卵は共販で斡旋

忠北の家畜大増殖

目に取り協能する最上川教物協商に無く協定成立し七日は大阪で和いた所とは出ては大阪で和いた所である。

一行よなど盛り漱山なプロで測量り 公前は、各等院では甘茶の接待を の後を与けて新鮮の港は同けて消

高に乗り上げたが六日頭に抗動を が何と多大の層隔を生じ一時は戦 のというというでは、一時は戦

同うと観角に作殺されてある。 一で現場と無額を、十七日は各等 にで無数と無額を、十七日は各等 にで無数と無額を、十七日は各等 にであ数とを確認に種見行列をた からは式張を、一後と世界から。 佐藤成大教授の泰茂線が世界から。

護團結成工作

清州の官民を集めて懇談

月尾島の小火

盟わた結果六七の解月は現行連貫

湖ホテルで内鮮初主と船曾社の間 つきが開出間は七月まで八十五回 で開足中の解米単質血上行出週に [仁川] 去る四日から大津市電影

うと側層に情報されてある 犬の疑い復原なので直もにこのは、かけて婦犬肚腋な隠しものを行は したが、右の犬を調べたところが

公司是一京城へ通知

別院の活動で直もに配火した、

一起が、大事に至らんとしたが消で版本者難の号に器西面の山か

因は通行人が指でた畑草の吸引を一

川川悪射撃

物料展所で共同販賣の上層家の所物料の場所で共同販賣の上層家の所

得たらしめ農家では貸付された職

舊の花祭

殿が一同と先生に連れられ月足所の一門小學校四年生本田國雄君。こは

P[1] 六日午機五時昭京帰南大

少年を噛む

に強足しての繰り仁川韓用近で飼

機の路職日に知るので附内 來も十七日は糖四月八日 豪華なプロ

九川日都院で手盤でを受けて野娘「各球公衆代表、各类良芸、各公録」らも総々質問かあり趣に指命中位「既を演問を實施する散典らしく清飲者不明のセパード式に足を避る。町土時二十分から同じく公舎派に「訓練その他に思う試明し飛廊清か」を監視所をそれり、聞き大震義な

る防空映画南を開催、堂六日は午一時、蘇聯の東偏、防空観念、防空、黄坪米院、文義、美田豊各地に防

九線隊的特部中位一行。人形年開発部、所長等指導的位置。ころあつて午後等時半均散費

八、紫花、阿丁南南野部、在地市 からの機関総成に関していする

防空演習をも實施

を開館の上、岩面中佐より左の図、四名指版本都を、最大院、配川、十億名を揺さ加差面割買施見課題。立第七十九十歳には本秋、精州に

民國農東省から静山府を通じ米数と静山からの帰旧は概念一切を覚 問題合宛に四月から八月まで 腐実除されても用合はねらしい 冠婚葬祭の改善 壁に難はれてゐるので苦肉の欲と みられてある振角の申越しも生情

> 都顕質量型ご小作委員會を開催することに決定、原調が件数は小作 トラック列

車と衝突

9

総正保式部社の経物自動は「在第一級工保式部社の経物自動は「在第一人の表現」五日午後二時五分的京著

邓でなったがこれがため間列車は が利用郡大磯周茂石里の京黒綿織 原譜のを締切らんとした刈那、屋

鬼ナ殿物協質に強した報告によ

る、ところが四日の挑紙の報する と定盟総合間の歴史を製作してみ の方法につきては充分御指導を きことがあつては誠に遺憾につしれが一般に脚能響を及ぼす如もので永続性ある契約にあらず 水原の電話 の曖昧な態度に對し新し

**州陽郡か完納** 他は驀扈郡の九暦 関一分七郎で散呼度の七朝八分二

師は七千五十四四 吹入歩合は八 新注三萬一千六百十十**八四** 未收 

庭用発動機 とポンプ

月尾島の水試場 けふ落成式を擧行

去る三月廿一日竣工したが今八日 | ので近く質風の謎ひに至るもの 梁中であつた京徽道水産試験場は一て防護期結成の領連が熱して來た 招待して盛大に高成式を発行する はじめ野産業部長など皆民多数を 中則十時半から本所語複雑商局技 四千百九十回を投じて月尾島に 今後の活躍を期待 一折 の盛が新く印まりこれを契機とし

戦の京東對首翰戦は六日開催三十【水原】四連等缺端监督事リーダ 水原野球戦 京東大挺

**艦漢城銀行** 

京城府南大門通一丁目十四番地京城府南大門通一丁目十四番地

温は盟盟場の関係が海洋製造の

を踊らんとするもので今後の活動 東交布 原東第 3317318 **間 0000000** 

(魏汝) 由本二 (逸球) 劉一、 (魏汝) 由本二 (逸球) 劉一、 (魏汝) (本韓江) 崔鹏敦 (益 (魏) (本韓江) 崔鹏敦 (益 (魏) (本韓江) 崔鹏敦 (益

シネマと演劇

石帆和抬武华四月武昌登記 ルベッ各社街=付摊込ミタル金を開す街路ので、100円で拾五京園以上り抽跡では、100円で投資のスペートス但が開始が設定、100円で投資の大学で、100円で投資ので、100円で投資ので、100円で、100 旗腳鐵原支廳

孤百五拾菱萬 宽于五百团也上起史的登部镇强三依,其一种的规律金,依然其一种的规律金,依然可以,对的规律金,依然可以,如此规律金,以为,如此,以为,以为,以为,以为,以为,以为,以为,以为,以为,以为, 商業登記公告 辞門井巴支廳

福和推進半營成治成且意記

右昭和拾武年參月八月音記長谷川鶴

黃海道議立候補廣告

京城府曆大門通 三菱商事株式會社京城支店

m議議出 長負員身

安公普校父兄白那農會評

**雅石成均** 一春於胡羅、四十二春於胡羅、四十二三十九春寶雅韶、四十二春於 三十九春寶雅韶、四十五五皇

忠北の車輛税

徵收成績良好

延白郡

既に向後五ケ毎回に上高頭に増船一の樹脈を同じく京城市最へ第日の

金組の態度曖昧

惑更に濃化

平北奥地の大豆の大買占め

三井と提携に非難

陳記典以上の頭数に達してゐるが

数は七萬三千頭を算し遊邏館の増と二千頭が関条的人十戸にばら嶽(清州) 忠北道内製在の農家盗豚・十一頭から四十回で販賞懇談ざつ

十一四から四十国で取貨銀派ざつラックで京城市書へ帰出し一頭ニ

によって需要は除理証和された。

月以來内賦八十頭を八回に亘り上計費を雖めてゐる、一方、本年三

延安面館泉里 申鉞聲



市七日の海田記念日は京城府、海 平人館、周討義四・愛國婦人館、「祝賀の宴を張り午後七辈からは府」すことであらら、『紀代の宴を歌り午後七辈からは府」すことであらる。 た日本在本職第卅二周年、來る

**- 顕微情勢緊迫の振橋、めぐり来 | 二年前の帝國海軍の武動を頭影す | に静師の派遣方を交渉中で海のな | 戦る便利たものである** 年を強く列強が能収線派に収載。置が一簣に思き能限制数喚起と卅「下東都不材類出掛から顕極緊疾制」も振り一般で朝鮮取情かすつかりと呼の医館や― 海川無候教策 | 周別婦人僧・東那僧の所内娑園館 | 民鮮中勝ばで記句解観を聞くが目 | 攻破を厥は寸明太の子などの話を から新辞論を登城関節神宮大阪塩一派四日本を再路織し宮日南山々頂 る配金紫典を二十七日午後四時半」い京城ではあるが國民的記念日に

鮮内三ケ所に

側で廿五四年を理へて各職の記念| 家中で決定次第航空超越の建築に する質問時に観信局権事課内のと共に年島船県りの互助機関でと共に年島船県りの互助機関でと共に年島船県りの互助機関で 所位に脱脱する物である、たほ かくるとにこり難解秋瓶領等三ヶ ふ、たほ十六日午後一時から権は 人的は、十七日は伽修殿的

光朝壁のサー

朝郵の献金で建設

習品では大いに監滅して建 際地で ある折枘脱んで受路することに再は原理、近く駐姻で勝窓の勝元を計量して本は原理、近く駐姻は人に敗めて不断ので同僚を計量して

国際モの他につき具備所に立一

前辿りである 興正社落成式 十五日舉行

皮肉!この 反則者

鍾路署できのふ一日に百六十件檢學

これに指ふ図は飛行脚(指導から関係の競技を強くて十五年後上から野便行職を、日午後二年から野での野便行職を、日午後二年か、2011年 · 原域の振い ・ 交通機構を除すま

御養蠶始の御儀

通安全週間中去る二日から六日ま

しかも交通安全週間實施前には建しいからでピックリさせてある。

これも皮肉

をはわ飛ば上胸部に治郷三週回を一郎。 野田十九個戦闘人戦成善さんなか、 近極地質人戦成善さんなか

について六月午後十一時五十分に ツベリン航空間配支服は今次被告

全員百五名。栗魁兵六十一名の

女の生首事件

幕を閉づ!

やはり鐵道心中の

居酒屋の女と判明

要する異似を資は世赤十字所以に

荒木雀

當局あきれて對策に腐心

名即死

生存者六十四名

発けたと何せらる | 1年五名の死難を翻記した河北武 | 1年五名の死難を翻記した河北武

五名のうち午後九時四十四分は

をかけかき同情を求め十日から

せら、と鳴物人りで實施された交

果してどれはどの脳部をもつてお頭面面の別様を受けた京城所以は 且ひに受通道部を守るやうになっ

> 全世界というでは、これのようには、これのでは、こ これも皮肉な語・七日午町十一

たか、回路署では七月午前七時か

者が大多数を占め、これでは指角 手に実依せんとするお、文は信徒 い都であつたが今度は頻節線を弱

の宣傳も水池に配するわけで、職 をゴマカして逃げんとする思質の

招かれた元本十畝園田は七日午後

正蔵語で密行。ひかり・目がけて一同女は金質が一本しかなく、壁も は去る二月廿一日午前二時ごろ遊」と見て雇主に首貫檄させたと 建設第一部東洋崎の悲音はとして

きのふ入城

での二回同盟管内で最も交通量の

県荒門下御自ら御稲立、御 支職、天<u>職、</u>柞査など蟾鼠 の副儀を行はせられ畏くも なほ今年度は小石丸、日支 の脚上監所に出脚、有泉主 八十年前十一時宮中紅葉山 元法追随。皇后陛下には けふ宮中で行はせらる より設選の上三名検定、既 する光学の原設青年は全国 に別五四所に出仕してゐる

給承などあらせられる、本

信用を存た動品の変化で無いの例を一 夜は無一文で前夜四十回の縁途で 

の樹脂が態度、六日午後七時ごろ 最高強極(\*\*)の二人は同転の慶告 四を傾観しこの手で十八世三百回 太平道二金子自開山市の廣市代三

|取りをやつてゐて昨年六月㎡から||既で紫線を聴め、周日夕別に至

定するので龍山岩では知人職保

井醫院 職派信局

ノートから身元判る 扱く、若白毛があり、赤いゴ た結果、即女は金剛は三本で記は 本詞町二八申京順(こ)に就き調べ もと戦以と一緒に働いてゐた親友 で結婚してあると供述、背質機の

七日午前十時ごろ仁川月尾島南海。字がばら人へに門き取らされてあ り母光調査のために川署から同夜 んざん指り上げた眺点の生首を耐 か居主は死間可取りを戦ひ史前さ に生首事件も果実なく春を開もた につながら首であると認め、こと その他から推して心中が時の脳器 川塔では鬼のやうな風主成間場を 理察が形成機能医も生質の切り口 異能女に間違ひなしと記定した

が正式が自動車が正式が自動車が正式が自動車の開発を表現ではある。

番響

加港

受けてゐるワン企館を唸らせた。」つては死體を解削に附することに「た門方正常(『しといひ寄籍前科二

なった

祖の聞かお

無一文大盡は 前科者

-男は一週間目にコロリと死 取闘べる一方、京琴道等統部から | 多所 | 夫("\*)とは武赤/蛇で、去

週川博士が安城に急行、場合によ | る三月四日西大門飛行所を出所し

**年表題行時代にこれはどうしたこ | 食債職協があるだけに要議署では | 去国の豪遊した男は李宣署で** 

人間は犬の洪女を関野政化として

取調べの結果、熊金原子古可生れ

んで仕舞ひ最近手級しく取締りを

**砂坝竖面,阴村面一八九米上人供** 

右所年はカルモナン自役を遂げた 京城鎮路署へ附高して來た、なほ 明記でおりかいにつき気は大変

かたしと疑いて群山にある間古の ころ一年生活品の治社、こと同連 ので混乱の舞井製造が副在した。 ころる、間直の顕井教師は誰る 公子川に急行原籍で質術を調べ

取に残ってるます、入様しての生徒よりは年齢が多いだけ 八成です

九

THAT USU TO

町山南

京東

質薬庭球リーグ

來る六月、

である情報、またもりが緊ਆの組

の帰途、京城(五世前) 後山で公

によって遺憾の黙か多いことか たので場所や政備等において「火)

- 舞込んで離か上にもファンを返ば せてある、常四郎一階東海の快報か の報に半器軟葬使っアンが海宝つ 澤政は一門に長利は杵屋佐吉米師 聊、八百蔵、小太夫、段四郎。の

色めく牛島の劇壇 京城と釜山で公演 好過に明治性を借り受けるべ 房中職為こそ後,面一所,其 八首の第一日録集に のそのまた を所作の完全無談を調はれる高麗 所と交渉中である、歌舞女子

**人妻にふざけた六十爺さん** 

嚙みつかれて悶死

で製造庫が一日一夜で放けし五日一座業業率動朱八色とやはり元外交一覧等で到も全く明人だと耐湿に

詳細元月八日本府官僚ニ在リー、答案松昭は 武武七武本年十七號 入札里門貝頭

月尾島で自殺

も知られ存ぜねと哭つ場るので顔 内第 子架

★相撰 夏旭 所

玉に黑星

初日の勝負

場會

催生

部 米 妈

社

母を深じてその老父と兄中親戚 いてみると問題されてゐる別の を親つてゐる、不能に思ひ聞 れ勝もに心配さらに署内の標 い彼合語に四、五 人の朝鮮人からな

名、韓経四十四名網占人であたが、大学は歴史を選げた模倣である、時に午後大寿二十五分、2般内にはブルス前長を初め大西洋樹城十五回の卸く記載を持つレーマン名前長の外職無政六十一 かに見えたが意外にも船首を地上に打つつけ俄然爆皷してしまった、し午後六時到際指であったので、「遊へ乗ねて午後六時二十分下路附近、正に着陸した ト至心に最色の避要を現したが天俠容易にをさまらず天饒回艇を安つて野産せんと上空に立治な名配長ブルス氏の指揮下に項に異を窮切りてンツトランの上空を連過して午後六時レークハース も空界の縁輩船ヒンデンブルが駅も出天候と着壁の間の不注意によりあったく妖趣に踏してし 時に至りとニデンブルグ競楽乱自 タハースト窓際質局は六日午後十 ☆……兄は足を胸にして好人処践 して戦く兄李鼓賢(三)『假名』して戦く兄李鼓賢(三)『假窓の歴典とれた。こ 買ひこんでしまり、損害した は友人から品物を買つてくれ であつた は現を致はうとしたがその日露 しの一家は僅か七回の金が工面 人が掘山署に配へ出た」め季 七国を置つたがつい出来心か 公司李吉尔(三)一般名

即山塔を訪れ一切が問題した金 つてやつと七回を工町、 を呼ばしますから今回だけは許 常思いの兄の心に動かされた器 て下さい」と異様にすがつた

つだなの生音の主に就で開山彩で「国成脈螺方の羅女欺丘戦さんで」七旦正年ごろ長別た滅江にほび上「抱台心中を選げた京城本詞町段 【珍名解典】 斯民制度堂主任

けふの天氣

園嶋

口面

株式會

條約第

年

記念日

の空高く飜る

| 旗を仰ぎて

愛國團體が總立ちとな

海の國防意識强調

も続り一册で朝鮮趣情かすつかり

題を引つばり、賦を抱いたりしてみて金を返せ……」と云ひながら

猿之助に引續

杯機嫌で美しい同女の家へ上り

旦り、去る一月午後七時半ごろ一 るため最近世東兄爺か金の返済を 極きの李挺昌といふ男と同接して 先金さん(ご)は旧近の百姓都沙東

京城本町三路島達賞で無一文で卅一気ビル「信酬を始め各カフエー遊覧」「島勇治、「島水町四〇三南方」の文

盗んだ金で豪遊

動物に云ひ寄るので持て除した部

女は爺さんの右腕にいやと云よ組

全國方面不員

記念大會へ

想で地げ除ったが影例から唱まれ 階分ついた、前さんはほうくくの

た傷の風かテク(脈んで観路)

経済が照れ上つて六十次

京城も参加

住宅地分談は、三坂通り二十番地、三坂通り、スが観舎宅前停留所である。

六郎

中 人 縁るがの地へ脚部部 | 神像大火火用 | 神られ | 神のれ | 神られ | 神のれ 人・年月前側所設備に持ちれ

学 給 見

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒蜂便、 惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液 ラチウム製築株式會社 #社 東京 東編 典型所 京都・翻稿・単名 各地鎮店にて阪費す

强力純ヴィタミンB製劑 (専賣特許)

過術盤

墨

美 城

京

一様にかくるものかどうか、金銭の野」 歌の結果性後死と見られてある

の五代表を繰り方面事業の討論に、の五代表を繰り加田業志立、北部劉光朝、衛田等志立、北部劉光朝、衛田等志立、北部劉光朝、南部、江東の東京、南部、江東の東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京

**型行されるが京城層からは** 

意大所は甘五日から廿七日まで三 范國方面委員帰盟刑立の廿周年記

出来項目比谷公爵堂で題々しく

石器の死にに死んでしまった、近年前一時暗非常な苦悶を飼けてが

手音を加くたが同に合はず、 一般的立即完全城出版所に入院顺急

小定期急行を

鮮満兩當局で計畫

今秋十月湖線とタイプップして行 一同別心の発天派入れた版鍵となる場所を行び、七日総技館織である。 ちょうことになる機構である 

るるが今世は新しく「朝鮮館」に 個へて帰居力を緩和するため目下

**鹿蔵院近や前鮮年や毘の話、斑は、江辿させる記典を述めてゐる、四一各級へ課堂方を願ひ出た各議からゴールドラツシュ時代の「を一架に難夫まで定期列率として「干さんべ」は戦闘寮出を** 交通安全週間に

なつた、この内容は朝鮮の風物、のパンプレットを作製することに

六月一日から實施 高空中、汽船と連絡して運運使 ら汽車、汽船と連絡して運運使

連利八級出せば北は北海道から 薬中の本党が落成したので本山製銀信者の計量する所によれば団 京城新河の真宗領軍等では建て新興、特別知道の「東京和」とようことは、「東城新河の真宗領軍等では建て新州が東京

征来急く理像物は航空側、選達

アップをはかることとなった。質

僧銀属に載せて聊便のスピード・

といふのに内地相互同の郵便が

【東京伝話】 空江北にスピード時

本の面目に抑ると題信者では襲撃、五難、距請入難が指揮も非敗も全一盟間も要するといふのは題信日これがこの継来の総定便は有封十 **能高田を扱じて急ぐ駆使は至|部八銭均一となるが小包だけは経** 

を迎へて飛行場技能線を開催

此ではは過至の要批にあたる半路 航空路の安全を計る。全の地域や 姓敗のために七日一萬五千國の賦 に従ひを分つてゐる朝鮮朝船間 料は所収の増削にと掲化

> 一ない。 定期に奉天まで

ヒンデンブルグ號は て爆發

☆……六日夜九時

回土地分護豫約募集

|形義行第一〇〇七、一〇〇八州中| 助さんの次五機井小駅校六年生光| 闘れ勝断などがすつかり決まるこれ接、参山国を運輸してゐる不定| 二時ころ京城太前四の一鈴木光之| 調か決定、一個日中には一部の配 子さんつとは既断家用をしたので 少女の家出六日午後十

らとした制那線融-火橋に包まれたまく着陸してしまつた「巴前は着温期是大に悩まされてゐたがドリツヒスハーフ ニン版課題を用線、北大西洋上を環破して経監レークハースト発派に規管しよドリツヒスハーフ 復、安全快調だ室路を開発して今年に入つて初めての北大西洋定期が路をテストするためフリー 【レータハースト六日同盟】ドイツ航空界の練り空の世間ヒンデンブルグ號は大西洋を十敗回往 大栫事の原因は悪天候と 着陸の際の不注意

が母棋質ひ下げを興順に来たの

坪二圓より十五圓まで

一口ノ坪数 積 百九十坪以上

内市御申込茨第御路附いたします 京城府南大門通四丁目六十四番地分、十元附上 松 京城出張鳴遊園株式會 四株式會社 張 所社

·事 <u>C</u> Ħ ti

仁川府松嶋町五〇五番地

現場園

<sup>+</sup>所社

、希望者は徹極改革急遠付されたし面實日は追加通知すたし面實日は追加通知すた。原理府水樂町二丁自六四京理府水樂町二丁自六四

1個 1個 1個 10 B

明故 有給外務社員招聘明故 有給外務社員招聘明故 有給外務社員招聘明故 有給外務社員招聘明本部等にして商職別に出導す一、治地家にして有職知人多ま方



ルメラヤキーヒーコ治明

社會武林巢製治明

ノ者王の養滋と味美

ノ 責 發 新 ルメラヤキンモレ治明 高杉南店回漕 (出荷孫蘭用電話) ON

用しないのみならず導ろ血壓を下降し患

者は頭部重壓の感を輕減する

**墨** 1.0cc(5管入 10管入 50管入) 2.0cc(5管入 10管人 50管入)

大阪東區道差町 株式倉社 藤澤友吉商店

#京日本橋區本町 株式会社 田邊元三郎商店

を大となし緊張を増加し 他方呼吸困難

を去り呼吸數を減じ呼吸を深大ならしむ

代理店

| 文献は代理店より粉家に限り聞急す | 製造元 財團法人 理化學研究所